

久留米聖火リレー 第3回 「カザフスタン大使インタビュー」

東京2020オリンピック・パラリンピック大会の事前キャンプ地として、久留米市はカザフスタン共和国とケニア共和国の選手をお迎えします。そこで今回は、カザフスタン共和国を代表し、在日カザフスタン共和国大使館のイエルラン・バウダルベック・コジャタエフ特命全権大使に久留米市の印象やオリンピックへの期待について、お話を伺いました。



久留米市の印象をお聞かせください。



「久留米市には何度も訪れていますが、いつも皆さまから熱い歓迎を受け、温かさや親しみやすさを感じています。2019年の夏には『水の祭典久留米まつり』のパレードに参加させていただくという、とてもおもしろくて貴重な体験もさせていただきました。

久留米は美しい自然が印象的です。その最たるは、九州地方最大の河川である筑後川です。久留米市を抱くように流れる筑後川に惹かれるのは、私の生まれ故郷であるタラズ地域を流れるタラス川にどことなく似ているからだと思います。天山山脈から流れるこの川は、古代シルクロードの歴史の一部でもあります。久留米の街中から見える高良山もとても綺麗です。広々とした公園や歴史ある神社などが多数あり、久留米は家族で楽しめるスポットがたくさんあるところだと感じました。街は清潔かつ快適で、都市生活に必要なすべてが揃っています。開館したばかりの久留米アリーナは広くて立派で、カザフスタンの選手が練習するのに最適だと思います」

今回のオリンピックに期待していることはなんですか？

「いよいよオリンピックイヤーを迎えますが、世界最大のスポーツイベントが待ち遠しいです。56年ぶり2回目となる東京でのオリンピックには、206の国と地域から1万2,000人以上のアスリートが参加する予定と伺っています。この大規模なスポーツイベントが大成功することを、心よりお祈り申し上げます。

スポーツは楽しむものですが、勝負事である以上、勝つことも重要です。カザフスタンの選手がたくさん勝利を収めることを期待しています。カザフスタンは、東京2020オリンピックで30種目以上、100以上の出場権獲得を見込んでいます。2016年のリオデジャネイロオリンピックでは金メダル3個、銀メダル5個、銅メダル10個を獲得し、国別ランキングの第22位でした。上位国と比べて圧倒的に参加選手が少ないことを考えると、とても優秀な成績だと思います。しかし、2012年のロンドンオリンピックでは11位でしたので、順位は下がっています。東京2020オリンピックでは、ロンドンを上回るトップ10入りを目指します。それから個人的には、野球やソフトボール、空手、スケートボード、スポーツクライミングなどの新競技に興味があります」

